

1. 評価結果概要表

作成日 平成21年6月21日

【評価実施概要】

事業所番号	0172901019		
法人名	有限会社 ぞう		
事業所名	グループホーム ぞう		
所在地	旭川市末広1条13丁目2番10号 (電話) 0166-59-6670		
評価機関名	タンジェント株式会社		
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内		
訪問調査日	平成21年6月17日	評価確定日	平成21年6月22日

【情報提供票より】(平成21年6月3日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)14年8月1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	18 人	常勤	16人, 非常勤 2人, 常勤換算 14.9人

(2) 建物概要

建物構造	鉄骨	造り
	2階建ての	1~2階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	26,000 円	その他の経費(月額)	16,500~23,500 円	
敷金	有(円)	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円)	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	400 円	昼食	450 円
	夕食	450 円	おやつ	0 円
	または1日当たり		1,300 円	

(4) 利用者の概要(6月3日現在)

利用者人数	18 名	男性	4 名	女性	14 名
要介護1	1 名	要介護2	4 名		
要介護3	3 名	要介護4	6 名		
要介護5	4 名	要支援2			
年齢	平均 83 歳	最低	70 歳	最高	98 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	旭川北医院・いまみや歯科
---------	--------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

安全対策委員会が主体となって、ヒヤリ・ハットのデータ収集及び分析が行われ、事故の未然防止の取り組みや是正処置及び予防処置が実施され、他に例を見ない有効な再発防止の取り組みが行われています。また、職員のインタビューでは「私たちは利用者様のお世話をさせていただいているのではなく、利用者様に日々教えられ勉強の機会を与えられている」という話を伺い質の高さが伺えました。ヘルパー、高校生、専門学校生の実習の受け入れや小学生、中学生のインターンシップへの協力などホーム機能を地域に還元する取り組みや地域のケアサービスの質の向上の為に、事業所相互間の交流や研修会開催など積極的に取り組まれています。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 前回評価では、運営推進会議の定期的開催が課題として挙げられていましたが、2ヶ月毎に定期的開催され運営推進委員、利用者、家族等が参加して食事をホーム内で開催し、食事について意見交換するなど具体的活動に取り組んでいます。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 自己評価は、法人代表者、管理者、全ての職員が参加して一年の振り返りの機会として利用され、具体的改善項目が明確化されています。また、外部評価の結果については、運営推進会議や家族にその内容が報告されサービスの質の向上に活かされています。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) 運営推進会議は、2ヶ月毎に定期的開催され議事録も備えられています。主な議題は、SOSやまびこネットワークの説明や進行状況、スプリンクラー設置の義務化についての説明、介護保険制度改定についての説明、報酬改定について、職員の紹介や人員配置、外部評価の結果とそれを受けての改善状況、介護職員の待遇についての質疑応答など具体的な報告や話し合いが行われています。
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) 家族が来訪しやすい取り組みや来訪時には、日常生活の様子や健康状態、不安な点や要望など話し合われ、そこでの意見が運営や具体的なケアサービスに反映されています。また、毎月「グループホームぞうだより」を発行して、花の鉢植えやおやつ風景など日常生活の様子や外出などのホーム行事参加の様子など家族に報告されています。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 他事業所と協力して、認知症への理解や啓発のために地域に於いて「認知症教室」を開催しています。また、町内会加入で、廃品回収や清掃行事に参加したり、お祭りや盆踊りなど地域の行事参加、ヘルパー実習、中学生や高校生のインターンシップの受け入れなどホーム機能を地域に還元する取り組みや地域との交流が積極的に行われています。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えるサービスとして、事業所独自の理念を作り上げ職員間で共有されている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者と職員は、申し送り時や施設内研修時に理念を振り返り共有し、その実践に向けて日々取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	他事業所と協力して、認知症への理解や啓発のために地域に於いて「認知症教室」を開催している。また、町内会加入で、廃品回収や清掃行事に参加したり、お祭りや盆踊りなど地域の行事参加、ヘルパー実習、中学生や高校生のインターンシップの受け入れなど地域との交流が積極的に行われている。		特筆すべき点として、「グループホームぞうだより」を町内会や消防署、地域の交番、小・中学校、地域の金融機関に回覧するなど日常生活を通じて地域との交流や連携に取り組んでいる。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価は、法人代表者、管理者、全ての職員が参加して一年の振り返りの機会として利用され、具体的改善項目が明確化されている。また、外部評価の結果については、運営推進会議や家族にその内容が報告されサービスの質の向上に活かされている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議は、2ヶ月毎に定期的開催されている。委員は、利用者、家族、町内会役員、食材提供の近隣農家、介護支援専門員、PTA役員、事業者、管理者及び職員で構成され具体的に活動に取り組んでいる。</p>		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>事業所は、市や包括支援センター主催の研修会参加、日常業務を通じてサービスの質の向上に日々取り組んでいる。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>家族が来訪しやすい取り組みが実践され、来訪時には不安や要望、苦情など意見交換が密に行われている。また、毎月「グループホームぞうだより」を発行して、日常生活や外食や外出などのホーム行事参加の様子など家族に報告されている。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族の来訪時には、日常生活の様子や健康状態、不安な点や要望など話し合わせ、そこでの意見が運営や具体的なケアサービスに反映されている。また、毎月「グループホームぞうだより」を発行して、日常生活の様子などを家族に報告されている。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、離職などで利用者に影響を与えないように配慮する取り組みをしている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するため積極的に内部・外部研修参加を奨励し、実践している。また、職員の資格取得を奨励し支援している。		特筆すべき点として、地域の教育訓練のニーズの把握やケアサービスの質の向上のために研修会等の企画やその実践の中心的役割を担っている。
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム連絡協議会を通じてネットワーク作りや研修会、他施設との意見交換など積極的に行われ、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	管理者、職員は、「共生」という思いを大切にして、思いや意向を把握する取り組みや本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に取り組んでいる。また、日々のかかわりの中で本人の希望や意向を尊重した取り組みが行われている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、介護計画は作成されて利用者、家族の希望や医師からの助言、職員からの意見を取り入れ具体的になっている。また、アセスメントを含め全ての職員が参加してモニタリング、カンファレンスが行われている。		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	個別の期間毎の評価や介護支援専門員が中心となってカンファレンスを随時実施し、現状に即した介護計画の見直しが行われている。また、サービス提供内容の評価も行われ、課題が次の介護計画に反映されている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、通院への支援や医師、歯科医師の往診など柔軟に支援されている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	協力医療機関や主治医との連携で気軽に相談できる医師が確保され、往診など適切な医療が受けられるよう支援されている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人・家族の意思が確認され、職員間で方針が共有されている。		開設当初からの利用者が多く医療への依存が多くなりつつあり、さらなる家族との連携の必要性を検討している。
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	一人ひとりの誇りやプライバシーに配慮した言葉かけや対応、記録の扱いをしている。また、個人情報保護に配慮した取り組みも実践されている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりの希望や思い、本人の体調に合わせて支援している。また、散歩や外出など本人の希望にそって柔軟に支援している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	栄養班を作り嗜好の把握や安心安全な食材を近隣の農家から提供を受けるなど食事が楽しみなものとなるような取り組みが行われている。また、料理や盛り付け、配膳の準備、食器洗い等職員と利用者が一緒になっている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、ゆっくりと入浴が楽しめるように週2~3回を目安に支援している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かしながら新聞とり、調理の準備や後片付け、散歩や畑作業など「本人ができること」への生活の支援が行われている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	温泉入浴やお祭り見物、散歩や買い物、花見や紅葉狩り、ドライブや寿司・ラーメンなどの外食など戸外に出かけられるよう支援している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	夜間は施錠しているが、日中は自由に外出できるように鍵をかけないケアに取り組んでいる。また、利用者が外出する時は、職員がさりげなく見守り安全面で配慮されている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>火災避難訓練が年2回実施され、災害時に速やかに対応ができるようにマニュアルも整備されている。また、資格を持った防火管理者が配置され消防署とも連携されている。</p>		<p>特筆すべき点として、安全対策委員会が主体となって、ヒヤリ・ハットのデータ収集及び分析が行われ、事故の未然防止の取り組みや是正処置及び予防処置が実施され、他に例を見ない有効な再発防止の取り組みが行われている。</p>
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>具体的な食事や水分の摂取量が把握され職員間で情報が共有されている。また、定期的に栄養会議が実施され食材やメニューが検討されている。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共用の空間では、利用者にとって気になる音の大きさや臭い、光の強さは感じられない。また、玄関は入り口には、プランターで花が多く配置されて家庭的雰囲気を出している。また、敷地の畑では利用者が花や野菜などを栽培することが楽しみごととなっている。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室には、本人や家族と相談しながら、観葉植物が飾られたり、ソファや筆筒など使い慣れた家具などが持ち込まれ安心して過ごせる場となっている。</p>		

は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。